

菊陽町 AI-OCR ライセンス導入業務 仕様書

菊陽町では、DX 推進の一環として、紙媒体の申請書等からシステムへの転記作業等に係る作業時間を短縮することで業務の効率化を行い、行政サービスの向上に繋げていくことを目的として、AI-OCR を導入する。

1 件名

菊陽町 AI-OCR ライセンス導入業務

2 業務期間

契約書に定める日から 3 6 か月（長期継続契約）

稼働予定：令和 8 年 3 月 1 日から令和 1 1 年 2 月 2 8 日まで

3 履行場所

熊本県菊池郡菊陽町大字久保田 2 8 0 0 番地 菊陽町役場内

4 業務内容

（1）AI-OCR 導入

- ① 「別紙 AI-OCR サービス機能要件一覧」の要件を満たす AI-OCR サービスを履行期間内において使用可能とすること。
- ② 読取項目数は年間 3 万 5 千ページ、7 5 万項目（帳票種類：9 種類）とし読み取りを行うための帳票の電子データ化は本町既設のスキャナ装置で実施する。

（2）環境構築

環境構築に当たっては、以下の事項を遵守すること。

- ① 庁舎内に設置された業務端末で、職員による AI-OCR の帳票設定及び実行を可能とすること。
- ② AI-OCR を導入する端末については町で準備するものとし、受託者は町が指定する端末に必要な動作環境を構築すること。
ただし、当該システムが本町において容易に環境構築を行うことが可能と認められる場合は、インストール資産及び手順書等を提供することで足るものとする。
- ③ 読み取り帳票の初期設定は業務範囲に含まない。
- ④ 事前にシステム管理部署やネットワーク保守委託先業者との十分な協議・検討を行うこと。
- ⑤ AI-OCR の動作環境構築に係る費用（ソフトウェア費、保守費等一式）

は、全て受託者において負担すること。

(3) 職員研修の実施

本番稼働に向け、機器の操作方法について操作マニュアルを用いて職員研修を実施すること。研修については、集合研修にて1回以上の実施を想定しており、研修に係る事前準備や講師等は受託者が行い、研修場所の提供は本町が行うものとする。

(4) 保守管理及び運用支援

AI-OCR を円滑に運用するためのサポート体制として、メール又はWebフォームからの問合せ対応が可能であること。

5 構築スケジュール

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
公示	▼						
プロポーザル		▼					
契約			▼				
構築			■				
稼働				■	■	■	■

6 動作環境

以下の要件を基準とする環境で利用可能であること。

(1) 本町が利用しているクライアントパソコンの主なスペック

- ・OS Microsoft Windows 11 24H2 以降
- ・CPU Intel Core i5 1215U 以上
- ・メモリ 8GB 以上
- ・SSD 256GB 以上
- ・ウェブブラウザ Microsoft Edge 及び Google Chrome

(2) ネットワークの三層分離

町のネットワークはマイナンバー利用事務系(基幹系)、LGWAN 接続系、インターネット接続系に分かれている。業務端末のほとんどがマイナンバー利用事務系又は LGWAN 接続系であり、インターネットへの直接の接続はできないこと。

7 成果品

本業務の成果品は、AI-OCR ソフトウェア及びこれに付随する一切の機器、資料等であり、町の指定する期日までに納品すること。なお、成果品の内容の詳細については別途協議の上、決定するものとする。

なお、現在予定している成果品は次のとおり。

- (1) AI-OCR ソフトウェア
- (2) AI-OCR 操作マニュアル

8 留意事項

- (1) 本業務の実施に当たり、本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、その都度、町と受託者が協議し定めるものとする。
- (2) 受託者は、本業務を通じて知り得た秘密を第三者に漏洩すること及び資料並びにデータの紛失、滅失、毀損、盗難等を防止するために必要な措置を講ずること。
- (3) 本業務に当たり使用する図表やデータ、画像等の著作権・使用权等の権利については、受託者において使用許可を得ること。なお、これらを怠ったことにより著作権等の権利を侵害したときは、受託者は、その一切の責任を負うこと。
- (4) 受託者は、本業務に関連した個人情報の取り扱いについては、菊陽町個人情報の保護に関する法律施行条例を遵守すること。また、受託者は、本業務の遂行に当たり知り得た情報を町の許可なく他に漏らしてはならない。契約終了後も同様とする。

別紙 AI-OCR サービス機能要件一覧

No.	機能区分	要件詳細
1	提供形態	LGWAN-ASP、又は庁内ネットワーク内（オンプレミス）での提供であること。外部インターネットに接続しないこと。
2	認識対象	手書き文字、活字、マーク（チェックボックス、丸囲み）、バーコード、QR コードを読み取り可能であること。また、複数行にわたって文字が記述されていても読み取り可能であること。
3	認識精度	AI 技術を用いるなど、文字を認識する精度を向上するための機能を有していること。
4	結果確認・修正	帳票画像データを読み取った後に、読み取り結果の確認及び修正ができること。
5	正誤比較表示	帳票画像データと読み取り結果を並べて表示するなど、正誤の比較がしやすいレイアウトとなっていること。
6	画像補正	帳票画像データに傾きや拡大・縮小があっても、自動的に補正し読み取る機能を有していること。
7	対応用紙サイズ	A3～A5 や B4～B5 の規格サイズのほか、規格外サイズの読み取りもできること。
8	連続読み取り	複数ファイルに分かれた帳票画像データをまとめて読み取り、認識が可能なこと。
9	帳票定義の容易さ	プログラミング等の知識が無くとも直感的に操作ができ、チュートリアルや簡易な操作説明等で使用方法を容易に習得できること。

No.	機能区分	要件詳細
1 0	複数帳票の管理/仕分け	複数種類の帳票画像データの帳票定義を管理できること。また、複数種類が混在する帳票画像データの自動振り分け、読み取り機能を有していること。
1 1	データ形式	入力データファイルは、PDF、JPEG、PNG 及び TIFF 形式に対応できること。
1 2	データ出力	帳票画像データの項目ごとにテキスト化し、そのデータを CSV ファイルで出力する機能を有していること。その文字コードは Shift JIS や UTF-8 に対応していること。
1 3	製品の維持・保守	契約期間中に AI-OCR ソフトウェアのバージョンアップが行われた場合、最新バージョンのライセンス又はその利用環境を保守管理の範囲内で提供し、継続的な機能向上と安定稼働を保證できること。
1 4	サポート体制	サポート情報（製品サポートや技術情報、マニュアル等）が日本語で提供されること。